

會報

十一月二十一日一六〇

一 事務助手ニ適任ナル兵ヲ自十二月二十三日
至十二月二十八日間伊藤
藤隊 松島隊ヨリ各一名毎日八時迄ニ本部ニ差出シ副官ノ指
示ヲ受ケシムルコト

二 自今當分間日直將校及巡察將校下官ニ交代中送リハ十二時
ヨリ十三時間ニ本部部隊長室前ニ於テ行ワコトニ定ム

三 塵埃梱包用麻布 返納ニ關シ上司ヨリ度々通牒アリタルモ之ヲ回
收實績不良ニシテ被服整備上ニ隘路ヲ形成シアルニ付各隊ハ左
記要領ニ依リ速ニ委員ニ返納セラレ度

一 麻袋 全數 (梱包シアルモノヲ開梱シ返納ノコト)
二 返納期日 十二月二十五日迄
三 場所 玉城國民學校校經理室

十二月五日	晴土曜	五成園	民學校	日々命令	會報	戰備度
陣地構築	大際前日の子續キ築城作業ヲ實施ス	ニ移轉	大際石上作命第六號ニ基キ一六〇一七〇〇 向ニ直リ五成園民學校ニ移駐ス	別紙石上作命第六號ヲ下達ス	別紙石上作命第二四號ヲ下 達ス	二三四五丙號戰備下令ナル

勤務大本日、勤務員

日直將校

奈良少尉

冰室將校

千葉准尉

日下士官

西牟田軍曹

内務衛兵

奈良隊

封聖監視哨

甲前隊

封海監視哨

松島隊

日直下士官

小林曹長

現員 本日、現員

人員 飯塚少佐以下七八名

島正 日島 日

石九六日命第一六四號

石第三五九六部隊日々命令

十一月三日一六日校
五城國民學校

一 部隊業務分坦表別紙、如シ

二 本部兵舎配宿区分西支圖別紙、如シ

三 陸軍衛生上等兵 中尾 貞次郎

右者退院者受領、爲本二十三日即日歸隊ノ豫定ヲ以テ
沖繩陸軍病院ニ出張ヲ命ズ

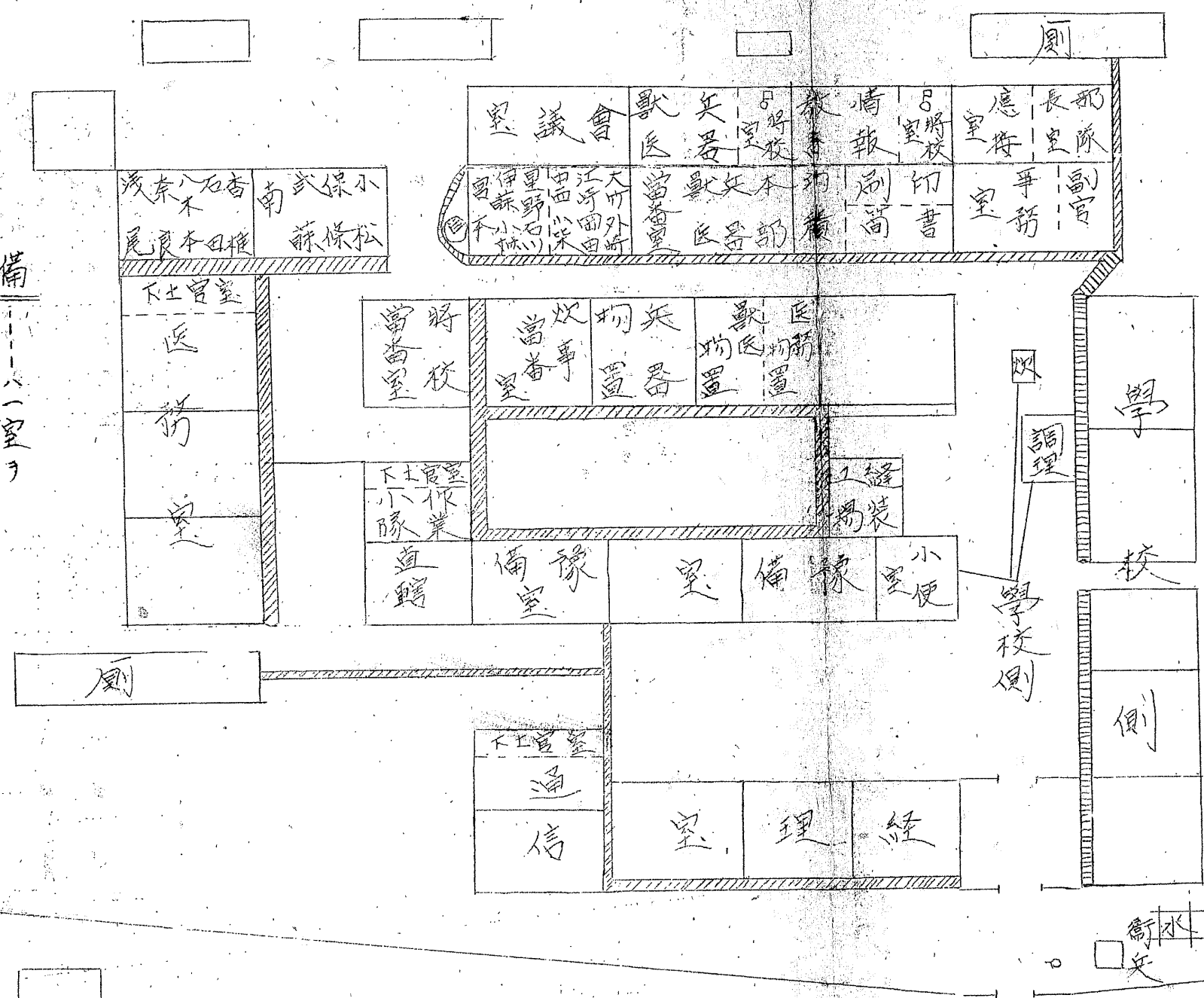
部隊業務分担表

昭一九二二
石第三五九六部隊

業		首座 (主任)	委員 (係將校)
作戰情報			
防空防衛防諜			石田中尉
兵要調査事項			
對空海監視事項			
軍用道路事項			
軍用地圖事項		三輪大尉 (遠藤大尉)	
經理委員			保條軍醫中尉 南主計中尉
物品販賣所委員			南主計中尉
<small>准士官</small> 集會所監督將校			坂井少尉 北風少尉 石田中尉
共有金保管委員			
乘馬委員			
教育檢閲查閱			
訓令訓示事項			
部外團體宿泊事項		遠藤大尉 (香椎中尉)	
將校集會所委員			
文庫委員			
兵器委員		三輪大尉	香椎中尉
功績		香椎中尉	

昭一九二二

水 事 本 部 兵 舍 配 宿 區 分 要 圖



運動場

馬槽

馬槽庫

考備

杜切必之ノノ人

三 疏 漢

石丸大倉部第一四四號

金日

報

十二月三十一日

一左記ニ依リ月例身体檢査三種混合及赤痢豫防持種ヲ安
施ス

月	日	時	間	受驗部隊	場	所
同	十二月二十四日	〇八	〇〇	本部直轄小隊	大隊本部醫務室	
同		〇八	三〇	通信作業小隊	同	
同		〇九	〇〇	伊藤隊	同	
同		〇九	三〇	江戸隊	同	
同		〇〇	〇〇	松島隊	同	
同		〇〇	三〇	松田隊	同	
同		〇〇	〇〇	天倉隊	同	
同		〇一	三〇	山内隊	同	
同		〇三	〇〇	須川隊	同	
同		〇三	三〇	橋本隊外山隊	同	
同		〇四	三〇	初年兵教育隊	同	

十二月二十五日	一三〇〇	前日、脱漏者	大隊本部醫務室
十二月二十六日	〇九〇〇	前日、脱漏者	同

備考

- 一 關係幹部立會スルコト
- 二 豫防接種本部直轄通信作業各小隊ヲ除ク各隊實施スルモノニシテ初年矢教育隊ハ赤痢豫防接種ニ實施ス
- 豫防接種ヲ受クル各隊ハ將校以下ノ連名簿、北谷村殘留者箱、嶺分遺者、伐採隊参加者ヲ含ム一通、右時刻ニテ醫務室ニ提出スルコト
- 三 各隊衛生兵、小松軍醫ノ指示ヲ受テ自隊ノ豫防接種ヲ援助スルモノトス
- 二 部隊自治ノ爲、近日中各隊ニ對シ左記要領ニ依リ家畜ヲ交付スル豫定ニシキ豚舎及鶏舎ヲ設置セラレ度

豚 五頭 鶏 三羽

交付期日 十二月二十七日 一月十五日
 飼育法 民家ニ依テスルコトヲ禁ズ
 畜舎ニ依テスルコトヲ禁ズ

上月二十日	一陣地構築
晴日曜	大隊前日ニテ訓練ヲ築城作業ヲ實施ス
玉城國	戰備ノ度
民學校	一四、五。警戒警報解除カレテ號戰備ニ轉移ス
會報	別紙石丸大會第一四五號ヲ下達ス
隊四	挺進奇襲教育ニ参加セシ遠時、大村以下十二名ノ教育終了シニシ。隊ス
來隊	參謀長ハ十二日大隊視察、隊途馬正視察、爲一五、三。來隊シ一六、二。隊返ス
道及	岩井軍曹以下四名一四、一。道及ス

勤勞七本日、勤勞員

日直將校	三輪大尉
巡警將校	奇野准尉
目下士官	谷口軍曹
内務衛兵	天倉隊
対空監視隊	伊藤隊
対空監視隊	松島隊
日直下士官	外崎曹長
現員八本日、現員	
人員	飯塚少佐以下八五名
馬匹	日馬 四

石丸六海軍第一師団

十一月二十五日

報

玉城國民學校

十一月二十五日地方側ニテ吹鳴試験實施セラル(サイレン)一般ニ承知ノ

十一時 警戒警報

十二時 空襲警報

十三時 空襲警報解除

尚當日警戒警報(内陸戦備)アリタル時ハ中止

十一月二十六日十時ヨリ十一時三十分ノ間、系滿北方海岸ニテ迫撃砲ノ實

彈射撃ヲ實施セラル(塩平 北方ヨリ海ニ向ヒ射撃)

三 飛行場整備ノ勤勞奉仕ノ學徒團員等ニテ飛行機ノ性能名稱

行動等軍機事項ヲ該飛行場ニアル兵ヨリ説明ヲ受ケ之ヲ書翰

ニ記載ス心算ノ事例アリ 陣地構築等ニ於テモ此種軍機事項

ヲ漏洩セザル如ク防諜上特ニ注意スルコト

四 隔離中ナリシ初年兵教育隊ニツキ去ル十九日來隊セル師團防疫

給木班(鈴木軍醫少尉以下六名)ノ再度ニ亘ル檢疫ノ結果全員

陰性ニシテ保菌者ナシ依テ本日ヲ以テ隔離ヲ解除ス

五、各隊ハ齒科治療希望者数ヲ調査シ上明後三六日會報時本部暨
務室ニ通報セラル度

六、十二月例身体検査時間割ヲ左記通り一部変更ス

十一月二十五日 本 部

通信 炸業小隊

一〇三〇 松島隊

一一三〇 伊藤隊

一二三〇 天倉隊

一三三〇 山内隊

一四三〇 須川隊

一五三〇 初年兵第一教練班

一六三〇 初年兵第二教練班

一七三〇 江戸隊 松田隊 脱漏者

一八三〇 橋本隊 外山隊 脱漏者

一九三〇 前日 脱漏者

二〇三〇 前日 脱漏者

七、高宮城ニ於テ被服固定修理所開設セラレタル付キ各隊ハ被服修
理品ヲ取纏メ明十二時迄ニ修理室ニ提出相成度

八、進而修理品ハ洗濯等ハ都合モアリニテ七日迄受領ス註記 明瞭
付スコト

尚過日通牒セシ隊外勤務者モ布不足ノ分持参ナキ中隊ハ明日

修理品ト諸ニ提出サレ度

九、郵便ハ從前規定ニ基キ取扱ヲ實施スルニツキ一般ニ承知ノコト

十二月二十五日
晴 月曜
大正天皇祭
五城國
氏學校

一 陣地構築

大原以前日引續築成作業ヲ實施ス

二 日口命令

別紙石丸六日命令第六五號ヲ下達ス

石第三五九六部隊附陸軍中尉 水崎正之助

補石第三五九六部隊中隊長

磯岡銃中隊長ヲ命ズ

石第三五九六部隊附陸軍軍医少尉 大前孝三

補石第四二八四部隊附

三 視察

部隊長ヨリ三。。定卷ノ系敷陣地ヲ視察シ六。
。般隊ス 隨行者 三輪大尉

石九六日命第一六五號
 石第三五九六部隊日々命令
 十一月二十五日
 五城國民學校

一、左、如ク發令セラルル
 石第三五九六部隊附 陸軍中尉 水崎正之助
 補石第三五九六部隊中隊長 大前孝三
 石第三五九六部隊附 陸軍軍醫少尉 水崎正之助
 補石第四二八四部隊附 陸軍中尉 水崎正之助
 機關銃中隊長ヲ命ス
 石第三五九六部隊本部 陸軍曹長 石井健市
 第十二野戰補充隊步兵第二大隊(成第一二六二部隊) 轉屬
 ヲ命ス
 陸軍軍曹 大泉靜郎
 石第一八八二部隊勤務ヲ免ス
 陸軍上等兵 酒井喜代治
 機關銃中隊長
 陸軍上等兵 酒井喜代治
 大隊本部將校當番ヲ命ス
 通信班長 陸軍少尉 奈良良
 大隊副官業務ヲ援助スヘシ
 陸軍少尉 奈良良
 (二十四日命令)

勤務員	本日、勤務員	香隆中尉
日直好夜	日直好夜	神谷見昌喜
巡警時夜	巡警時夜	宮本曹長
同 下士官	同 下士官	淡尾
内務衛兵	内務衛兵	伊藤
封海 監視哨	封海 監視哨	原田伍長
日直下士官	日直下士官	
現員	本日、現員	
人員	飯塚少佐以下八五名	
馬匹	馬匹	

七
機關銃中隊 陸軍曹長
幹部候補生關スル連絡ヲ爲本二十五日即日歸隊豫定ヲ以テ
里沖繩縣立第二中學校ニ出張ヲ命ス

十二月二十六日

一陣地構築

晴火曜

大隊前日ニ引續キ築城作業ヲ實施ス

大城國

作戦命令ニ

旅團陣地配備並ニ大隊防禦計畫ニ就テ別紙石十
五作命令第六一號ヲ下達ス

日之命令ニ

初年兵査閲補助官任命函ニ別紙石九日命令第六
六號ヲ下達ス

會報

別紙石九六會第一四六號ヲ下達ス

來隊

旅團長閣下ニ用務爲一三二。來隊ノ一四。敬送ス

視察

第六部隊長ニ九。定花坂口陣地ヲ視察シ一ス。

敵隊

約

本日、勤勞島

日直將校

白石少尉

込勢將校

宮田准尉

日下官

大富佐長

内務衛兵

松田隊

封鎖監視哨

伊藤隊

封海監視哨

松島隊

日直下士官

岡田曹

現 員 八 本日、現員

人員 飯塚少佐以下八人
島止 日島 四

獨立步兵第十五大隊命令

一旅團ハ師團防衛ニ部ヲ担任シ島尻東北部及知念半島ヲ堅固ニ

占領シ海方面ヨリ進撃スル敵ヲ海岸地帯ニ捕獲撃滅ヲ企圖ス

獨立步兵第三大隊(小欠)ハ知念半島東北部宿帆山一552高地

及久手堅一1672高地要點ニ複層的據點ヲ堅固ニ占領シ一部

ヲ海岸線附近ニ配置シ所在海軍部隊ト密ニ協同連撃スル敵

ノ進攻ヲ海岸地帯ニ破挫ス

獨立步兵第三大隊獨之機関銃第十四大隊第三中隊(支隊)屬

八自取間一六城一六里一嶺井及1672高地附近要點ヲ堅固ニ

占領シ師團第一線陣地ニ連撃スル殲滅據點ヲラシム一部ヲ

東海岸線附近ニ配置シ所在砲兵部隊ト密ニ連撃ス協同

シ主トシテ中成湾海面ヨリ進撃スル敵ヲ海岸地帯ニ破挫ス

獨立機関銃第十四大隊(支隊)第三中隊(支隊)ハ主力ヲ以テ當所

衛地區内ニ陣地ヲ占領シ當所衛地區ノ戰鬥ニ協力ス

二大隊(獨立連)射砲第三十二中隊 重砲兵第七聯隊第三中隊 外山
 小隊(屬)八所在部隊下密ニ連繫ス担任地區内ニ堅固ニ
 陣地ヲ構築シ地區内ノ防衛ニ任ゼントス
 三各隊ノ別冊飯塚地區防衛計畫ニ基キ夫々担任地區内ニ
 堅固ナル陣地ヲ構築シ地區内ノ防衛ニ任ズベシ
 四予ハ在屋嘉部五城國民學校ニ在リ
 大隊長 飯塚豊三郎

下筆去 各隊長ヲ集メ要旨ヲ達後印刷交付
 既而先 各中隊凡IP及AS并ハ小隊(520 648)